

博物館の個別施設計画

令和3年3月
(令和5年3月改定)
(令和5年12月改定)

奥州市教育委員会事務局歴史遺産課

はじめに

○ 博物館施設の現状

本個別施設計画に記載する博物館施設は、実物資料や複製・模型資料等を所蔵し、教育的配慮に基づいて展示公開を行っている独立した施設であり、その内訳は教育機関2施設（奥州市牛の博物館、奥州市埋蔵文化財調査センター）と市長の権限に属し教育委員会事務局に管理運営の事務が補助執行されている公の施設6施設（高野長英記念館、後藤新平記念館、斎藤實記念館、菊田一夫記念館、奥州市武家住宅資料館、衣川歴史ふれあい館）です。

全ての博物館施設が市町村合併前の旧市町村により建設されたもので、老朽化が進んでいます。また、設置の経緯、規模および活動は施設毎に異なっています。

平成7年(1995)に開館し、博物館法上の登録博物館である奥州市牛の博物館は、日本で唯一の牛に関する専門博物館と前沢地域の郷土博物館としての機能を併せ持つ教育機関です。文化財の収蔵に適した環境の収蔵庫を有していることから、合併後は奥州市の歴史資料の収蔵施設としての役割も担っています。平成31年(2019)3月に空調設備の入替工事を実施し、常設展示室に加湿除湿装置を設置したことで文化財等博物館資料の安全に配慮した活用が可能となりました。ただし、現在、企画展示室として使用している部屋は防火区画ではなく、重要文化財を展示することはできません。

平成5年(1993)に開館した奥州市埋蔵文化財調査センターは、市内の埋蔵文化財の調査研究と保管及び公開を行う教育機関であり、指定管理によって施設の管理運営が行われています。国史跡胆沢城跡について展示・説明しており、令和元年(2019)に供用を開始した胆沢城跡歴史公園を含む国指定史跡「胆沢城跡」のガイダンス施設としての役割を担っています。経年劣化に伴い給水及び空調設備等の入替工事など大規模改修が必要となっているほか、市内全域から出土した遺物の保管施設としては、既に収蔵スペースが不足しております。出土遺物は、胆沢総合支所の旧議場や衣川地域の旧給食センター、胆沢郷土資料館とえさし郷土文化館の収蔵庫や前沢文化財整理室など各地域に分散して保管している状況であり、今後、出土遺物を恒久的に保存できる収蔵施設の確保が急務となっています。

奥州市立記念館のうち、水沢地域出身の先人を顕彰している高野長英記念館、後藤新平記念館及び斎藤實記念館は、すべて建設後40年を経過しており、老朽化が進んでいます。そのため、平成30年度に高野長英記念館と後藤新平記念館の空調設備入替工事及び斎藤實記念館(図書庫)の屋上防水工事を行ったほか、令和元年度には後藤新平記念館と斎藤實記念館(展示棟)の屋上防水工事を実施しています。また、文化財の保存活用を考慮して建てられた施設ではないことから、暖房稼働時に収蔵庫や展示ケース内の壁面に結露が生じるなど温湿度の管理が非常に困難であるほか、収蔵スペースが不足している状況で、博物館としての基本的な機能を備えていません。先人のゆかりの土地に建設されているため、駐車場が狭く離れており、大型バスの乗り入れにも支障を来しています。

平成15年に開館した菊田一夫記念館は、江刺に疎開したことがある劇作家菊田一夫の遺族とのご縁で江刺岩谷堂地区の観光拠点として市が整備した施設ですが、建造物と敷地ともに個人から有償で借用しています。平成13年に中善蔵の名称で市の有形文化財に指定されている煉瓦蔵を耐震補強して活用している施設であり、管理棟は木造1階建の別棟が新設されました。

奥州市武家住宅資料センター(平成5年開館)は、水沢地域に伝来する甲冑や火縄銃、庶民の生活用具

など城下町の様子を紹介する資料館で、文化財建造物である市指定「旧内田家住宅及び門」、県指定「武家住宅(後藤新平旧宅)」、国指定「旧高橋家住宅」、国史跡「高野長英旧宅」を公開するための管理棟でもあります。独自の収蔵庫を持たず、斎藤實記念館収蔵庫の一部を資料の保管場所としています。

平成7年に開館した衣川歴史ふれあい館(山村文化資源保存伝習施設)は、新山村振興農林漁業対策事業によって建設した木造の施設で、法定耐用年数を既に超過しています。個人から有償で借用している土地と市の所有地にまたがって建設されていますが、地盤沈下により建物に不陸が生じています。指定管理者が展示室を歴史講談の会場に改造しており、各種団体の活動の場として利用されています。

博物館相当施設・類似施設を含む博物館等の入館者は全国的にも減少傾向となっており、本個別施設計画に記載する博物館施設の利用状況も同様の傾向にあります。その対策として、通常の見学利用に加えて、各施設とも講演会や体験事業などの教育普及事業や出張事業などに積極的に取り組んでいます。

なお、本個別施設計画の対象外ではありますが、ホール施設に区分されている胆沢文化創造センターの中に複合施設として胆沢郷土資料館があり、さらに観光系施設に区分されている施設として、えさし郷土文化館があります。両施設とも指定文化財を収蔵、展示しており、その施設のあり方については調整を図る必要があります。

○ 課題

全ての博物館施設において老朽化が進んでおり、経年劣化等に伴う修繕費用が嵩むことが予想されることから、現状の全ての施設を今後維持することは困難です。一方で、博物館施設の設置者の責務として、文化財などの収蔵資料を保存して活用できる状態で後世に伝える必要があることから、施設を廃止したとしても資料を引き継いで適切に保存する必要があります。

しかしながら、奥州市牛の博物館の収蔵庫に余裕はなく、奥州市埋蔵文化財調査センターも既に新規の出土遺物の収蔵が不可能な状態です。これらの教育機関を除く6施設についても、収蔵スペースの余剰は無く、さらに建物の断熱が不十分なことから、屋内の相対湿度を一定に保つことが困難であり、文化財の適切な保存環境とは言えない状況にあります。

今後、博物館施設や設備の経年劣化等に伴う破損等が生じた場合、施設の性格、利用状況、市域全体のバランスなどを勘案して施設集約と再配置を行う必要がありますが、資料を保存して後世に伝えるという博物館施設の基本的な機能を果たすため、文化財の保存環境と研究者の学術利用に考慮した収蔵施設の整備が前提となります。

目次

| | |
|----------------------------|------|
| 1 基本事項 | P 1 |
| (1) 計画の目的と位置づけ | |
| (2) 計画期間 | |
| (3) 対象施設 | |
| 2 施設の現状及び将来の見通し | P 2 |
| (1) 保有状況 | |
| (2) 管理運営の状況 | |
| (3) 利用状況 | |
| (4) 更新・修繕に係る費用の見通し | |
| (5) 管理・運営に係る費用の見通し | |
| 3 供給量の適正化に関する事項 | P 6 |
| (1) 供給量の適正化の検討方法 | |
| (2) 供給量の適正化のスケジュール | |
| (3) 施設の延床面積の増減 | |
| 4 既存施設等の有効活用（更新・維持）に関する事項 | P 13 |
| (1) 既存施設等の有効活用の検討方法 | |
| (2) 既存施設等の有効活用のスケジュール | |
| (3) 更新・維持に係る費用の概算 | |
| 5 効率的な管理・運営に関する事項 | P 19 |
| (1) 管理・運営の見直しの検討方法 | |
| (2) 管理・運営の見直しのスケジュール | |
| (3) 管理・運営に係る費用の概算 | |
| 6 公共施設等のマネジメントによる効果 | P 25 |
| (1) 供給量の適正化による効果 | |
| (2) 既存施設等の有効活用（更新・維持）による効果 | |
| (3) 効率的な管理・運営による効果 | |

1 基本事項

(1) 計画の目的と位置づけ

本計画は、平成29年3月に策定した「奥州市公共施設等総合管理計画」（以下「総合管理計画」という。）に基づき、公共施設等の老朽化問題に対応し、財政負担の軽減・平準化を目指していくため、公共施設等マネジメント（保有する公共施設等を有効活用しつつ、施設保有量の見直しや計画的な保全による施設の長寿命化を図るための取り組み）を推進していくため、博物館施設に係る個別施設ごとの具体的な対応策を示すものです。

また、本計画は、国の「インフラ長寿命化計画」の行動計画（インフラ長寿命化計画＝総合管理計画）に基づく実施計画である個別施設計画（個別施設ごとの長寿命化計画）として位置づけるものです。

(2) 計画期間

本計画の計画期間は、総合管理計画の計画期間と同様に2021年度（令和3年度）から2056年度（令和38年度）までの36年間とします。

なお、本計画は施設の将来についての対応方針を示すものであり、今後は提供するサービスへのニーズや施設を取り巻く環境の変化に応じて、適宜、見直しを図ってまいります。

(3) 対象施設

本計画の対象施設は、総合管理計画における公共施設の大分類「社会教育系施設」－中分類「博物館施設」とします。

2 施設の現況及び将来の見通し

(1) 保有状況

令和2年度末の施設の保有状況は次のとおりです。

| 区分 | 施設名 | 整備年度 | 延床面積 (㎡) | 取得価額 (千円) | 経過年数 (年) | 法定 耐用年数 (年) |
|-------------------------|--------------------------|------|-------------|--------------|-------------|-------------------|
| 教育機関 | 奥州市牛の博物館 | 1995 | 1,746.50 | 1,099,800 | 25 | 50 |
| | 奥州市埋蔵文化財調査センター | 1992 | 1,755.94 | 505,583 | 28 | 50 |
| 公の施設 (教育委員会 補助執行) | 高野長英記念館 | 1970 | 336.91 | 26,980 | 50 | 50 |
| | 後藤新平記念館 | 1978 | 502.32 | 102,051 | 42 | 50 |
| | 斎藤實記念館 | 1975 | 735.20 | 52,764 | 45 | 50 |
| | 菊田一夫記念館 | 2003 | 144.00 | 167,841 | 17 | 24 |
| | 奥州市武家住宅資料センター | 1993 | 166.44 | 24,982 | 27 | 24 |
| | 衣川歴史ふれあい館 (山村文化資源保存伝習施設) | 1995 | 488.58 | 181,672 | 25 | 24 |
| 合計 | | | 5,875.89 | | | |

(2) 管理・運営の状況

平成26年度から3年間の管理・運営の方式と管理・運営費(単位:千円)は、次のとおりです。
なお、管理・運営費には、施設の更新・修繕に係る費用を除いています。

| 施設名 | 管理運営方式 | H26 歳入 | H27 歳入 | H28 歳入 | H26→H28 実質負担額 増減 (%) |
|----------------|--------|--------|--------|--------|----------------------------|
| | | H26 歳出 | H27 歳出 | H28 歳出 | |
| | | 実質負担額 | 実質負担額 | 実質負担額 | |
| 奥州市牛の博物館 | A | 4,091 | 4,083 | 2,204 | 11.9 |
| | | 17,684 | 17,385 | 17,409 | |
| | | 13,593 | 13,302 | 15,205 | |
| 奥州市埋蔵文化財調査センター | E | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 34,731 | 34,727 | 34,734 | |
| | | 34,731 | 34,727 | 34,734 | |
| 高野長英記念館 | A | 202 | 226 | 310 | ▲0.2 |
| | | 6,627 | 6,703 | 6,720 | |
| | | 6,425 | 6,477 | 6,410 | |
| 後藤新平記念館 | A | 383 | 425 | 584 | ▲7.9 |
| | | 6,509 | 6,195 | 6,224 | |
| | | 6,126 | 5,770 | 5,640 | |

| | | | | | |
|-----------------------------|---|--------|--------|--------|------|
| 斎藤實記念館 | A | 371 | 289 | 193 | 4.6 |
| | | 6,818 | 6,922 | 6,941 | |
| | | 6,447 | 6,633 | 6,748 | |
| 菊田一夫記念館 | A | 0 | 0 | 0 | ▲0.6 |
| | | 7,855 | 7,813 | 7,805 | |
| | | 7,855 | 7,813 | 7,805 | |
| 奥州市武家住宅資料センター | A | 0 | 0 | 0 | ▲5.2 |
| | | 12,352 | 12,300 | 11,709 | |
| | | 12,352 | 12,300 | 11,709 | |
| 衣川歴史ふれあい館 (山村文化資源保存伝習施設) | E | 0 | 0 | 0 | 0.5 |
| | | 4,068 | 4,089 | 4,089 | |
| | | 4,068 | 4,089 | 4,089 | |
| 合計 | | 5,047 | 5,023 | 3,291 | |
| | | 97,119 | 96,609 | 96,106 | |
| | | 92,072 | 91,586 | 92,815 | |

【備考】管理・運営方式の説明

| 管理運営方式の分類 | サービスの提供 | 施設の管理 | 使用料、利用料金または行政財産使用料の別（歳入先） | 市からの委託料 |
|-----------|---------|-------|---------------------------|---------|
| A | 市 | 市 | 使用料（市） | — |
| B | 市 | 指定管理者 | 使用料（市） | あり |
| C | 指定管理者 | 指定管理者 | 使用料（市） | なし |
| D | 指定管理者 | 指定管理者 | 利用料金（指定管理者） | なし |
| E | 指定管理者 | 指定管理者 | 利用料金（指定管理者） | あり |
| F | 指定管理者 | 指定管理者 | 歳入なし | なし |
| G | 指定管理者 | 指定管理者 | 歳入なし | あり |
| H | 民間 | 市 | 行政財産使用料（市） | なし |
| I | 民間 | 市 | 歳入なし | あり |
| J | 民間 | 民間 | 行政財産使用料（市） | なし |
| K | 民間 | 民間 | 使用に係る料金（民間） | なし |
| L | 民間 | 民間 | 歳入なし | なし |

(3) 利用状況

平成26年度から3年間の利用状況は、次のとおりです。

| 施設名 | 種別 (単位) | H26 | H27 | H28 | H26→H28 増減率 (%) |
|--------------------------|-------------|--------|--------|--------|--------------------|
| 奥州市牛の博物館 | 利用者数 (人) | 13,940 | 13,102 | 15,900 | 14.1 |
| 奥州市埋蔵文化財調査センター | | 12,233 | 8,133 | 10,241 | ▲16.3 |
| 高野長英記念館 | | 2,287 | 2,336 | 2,278 | ▲0.4 |
| 後藤新平記念館 | | 5,568 | 4,028 | 3,570 | ▲35.9 |
| 斎藤實記念館 | | 4,065 | 2,767 | 1,852 | ▲54.4 |
| 菊田一夫記念館 (管理棟) | | 2,567 | 2,569 | 2,500 | ▲2.6 |
| 奥州市武家住宅資料センター | | 6,779 | 6,811 | 5,707 | ▲15.8 |
| 衣川歴史ふれあい館 (山村文化資源保存伝習施設) | | 2,014 | 2,247 | 2,390 | 18.5 |
| 合計 | | | 49,763 | 42,202 | 44,578 |

(4) 更新・修繕に係る費用の見通し

平成26年度から3年間の修繕費用の実績 (更新・大規模改修に係る費用を除く) より推計した平成29年度以後40年間の修繕費用の見通しと、総合管理計画における平成29年度以後40年間の建替え・大規模改修費用の見通しは次のとおりです。建替え・大規模改修費用は、総務省が公開している「公共施設更新費用試算ソフト」と同様の条件・単価で試算しています。

| 分類 | 更新・修繕費 (千円) | | |
|--------------------------|---------------------------|---------------------|-------------------|
| | H26～H28 実績平均 値×36年 (A) | 建替え・大規模改修 費用 (B) | 計画期間中の費用 (A+B) |
| 奥州市牛の博物館 | 13,517 | 1,135,225 | 1,148,742 |
| 奥州市埋蔵文化財調査センター | 0 | 1,141,366 | 1,141,366 |
| 高野長英記念館 | 1,852 | 218,991 | 220,843 |
| 後藤新平記念館 | 1,202 | 326,508 | 327,710 |
| 斎藤實記念館 | 3,617 | 477,880 | 481,497 |
| 菊田一夫記念館 (管理棟) | 5,474 | 93,600 | 99,074 |
| 奥州市武家住宅資料センター | 4,001 | 108,186 | 112,187 |
| 衣川歴史ふれあい館 (山村文化資源保存伝習施設) | 0 | 317,577 | 317,577 |
| 合計 | 29,663 | 3,819,333 | 3,848,996 |

(5) 管理・運営に係る費用の見通し

平成 26 年度から 3 年間の管理・運営費用の実績（施設の修繕等に係る費用を除く）より推計した令和 3 年度以後 36 年間の管理・運営費の見通しは次のとおりです。

| 分類 | 管理・運営費（千円） | | | |
|-------------------------|--------------|---------|---------|-----------------------|
| | H26～H28 実績合計 | | | 左記実績負担額の の平均値×36 年 |
| | 歳入 | 歳出 | 実質負担額 | |
| 奥州市牛の博物館 | 10,378 | 52,478 | 42,100 | 1,515,600 |
| 奥州市埋蔵文化財調査センター | 0 | 104,192 | 104,192 | 3,750,912 |
| 高野長英記念館 | 738 | 20,050 | 19,312 | 695,232 |
| 後藤新平記念館 | 1,392 | 18,928 | 17,536 | 631,296 |
| 斎藤實記念館 | 853 | 20,681 | 19,828 | 713,808 |
| 菊田一夫記念館（管理棟） | 0 | 23,473 | 23,473 | 845,028 |
| 奥州市武家住宅資料センター | 0 | 36,361 | 36,361 | 1,308,996 |
| 衣川歴史ふれあい館（山村文化資源保存伝習施設） | 0 | 12,246 | 12,246 | 440,856 |
| 合計 | 13,361 | 288,409 | 275,048 | 9,901,728 |

3 供給量の適正化に関する事項

(1) 供給量の適正化の検討

計画期間内の供給量の適正化については、総合管理計画による実施方針に基づく分類ごとの考え方を基本としながら、施設の現状を把握し、施設の性能・耐震性（ハード）と施設の必要性・利用状況（ソフト）に分けて評価を行う施設評価を実施し、総合的に検討を行いました。

また、検討にあたっては、令和元年に実施した市民アンケート結果も参考にしています。

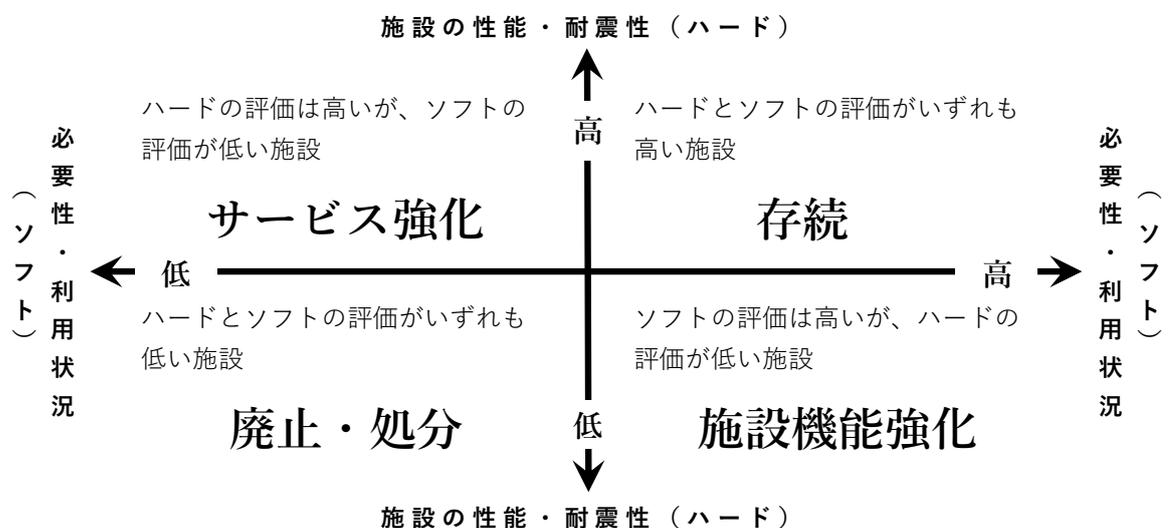
ア 供給量の適正化の基本方針

| 供給量の適正化の基本方針 |
|---|
| <p>○今後 40 年間で全ての施設が耐用年数を超過し、大規模修繕若しくは廃止を迫られることとなり、それに伴い施設の集約化が必須となることが予想されるため、市を取り巻く状況（人口、住民ニーズ、市行財政等）を十分に検証した上で、再配置を行います。</p> <p>○特定の地域の住民・団体が主たる利用者の施設は、利用状況等を勘案し、廃止・取り壊しを行います。</p> |

イ 1次評価

1次評価は、施設担当課が耐震状況、老朽化状況、バリアフリー、利用者の負担割合、住民の負担額、稼働状況の指標から施設の現状をフローチャートにより把握し、施設の性能・耐震性（ハード）と施設の必要性・利用状況（ソフト）の2軸により、「存続」「施設機能強化」「サービス強化」「廃止・処分」の4分類に評価しました。

また、「施設や事業の必要性」「施設の有効性」「施設の管理・運営の効率性」「今後の方向性」について分析して評価しました。



| 区分 | 検討内容 |
|---|---|
| 存続： 現状維持したうえで、民間手法等の導入を検討 | 施設の機能が十分発揮されており、必要性が高く利用者の多い施設については、引き続き公共施設としての保有を検討する。 |
| | 施設の管理見直しについては、民間手法の導入を検討し、これまで以上のサービス内容の質の向上を検討する。 |
| | ライフサイクルコスト、ランニングコストについて、サービス提供に係るコストの最適化を検討する。 |
| 施設機能強化： 耐震補強、長寿命化工事を検討 | 必要性及び利用率が高い施設で、老朽化等が著しい施設は、耐震補強工事や長寿命化工事を進め、施設の継続化を検討する。 |
| | 必要性及び利用率が高い施設で、利用環境や利便性が低い場合、利用者層の分析によりバリアフリー工事等で利用率の向上が見込まれるか検討する。 |
| サービス強化： 施設目的の変更や複合化による効率性を見直し検討 | 利用状況及び費用対効果が低い場合は、管理方法の見直しや施設の複合化を図るなどして費用対効果の見直しを検討する。 |
| | 周辺に類似施設がある場合など、サービス内容が重複しないように施設の目的の変更を検討する。 |
| 廃止・処分： 公共施設としては廃止し、建物の解体、処分を検討 | 当初の設置目的が果たされた施設や利用率が低い場合、公共施設として保有する必要があるか検討する。 |
| | 民間施設等の類似施設が整備され、公共施設として保有する必要があるか検討する。 |

ウ 2次評価

2次評価は、マネジメント部署が次に掲げる公共性、有効性、効率性、代替性、特質性の観点を加味し、施設の性能・耐震性（ハード）と施設の必要性・利用状況（ソフト）の2軸により、「存続」「施設機能強化」「サービス強化」「廃止・処分」の4分類に評価しました。

| 区分 | 内容 |
|-----|------------------------------|
| 公共性 | 法律等により設置が義務付けられているか |
| | 住民の安全・安心の確保等、生活を営む上での必要性は高いか |
| | 市の施策を推進する上での必要性は高いか |
| | 設置目的の意識が低下していないか |
| | サービス内容が設置目的に即しているか |
| | 利用実態が設置目的に即しているか |
| 有効性 | 利用者数等の見込みはどうか |
| | 利用実態からみた利用圏域はどうか |
| | 施設（敷地・建物）に余裕スペースがないか |
| 効率性 | 民間事業者のノウハウが活用できるか |
| | 支出に対する利用料金等の収入割合はどうか |

| | |
|-----|--|
| 代替性 | 利用圏域内に民間又は国県による同種のサービスを提供している施設があるか |
| | 他自治体との広域的な連携が可能か |
| | 民間施設等を利用した利用補助等で対応できるか |
| 特質性 | 歴史的、文化的、象徴的のある施設か |
| | 再編の検討にあたり、施設整備に係る国庫補助金、起債の償還、施設用地の借地契約期間等に制限はあるか |
| | 施設整備に係る管理・利用団体等からの負担はあるか |
| | 浸水想定区域、土砂災害警戒区域等内に設置されている施設か |
| | 避難所、投票所等に指定されているか |

エ 総合評価

供給量の適正化の基本方針及び1次評価と2次評価の結果等を踏まえ、施設の必要性や利用状況に対応した「サービス」及び施設の性能や耐震性に応じた「建物等」の2区分について、計画期間内の供給量の適正化を検討し、最終的な評価を行いました。

| 区分 | 評価 | 内容 |
|------|---------------|---|
| サービス | 継続 | 現在のサービスを継続して提供します。 |
| | 追加 | 現在のサービスの継続に合わせ、他の公共施設におけるサービスを追加します。 |
| | 新規 | 新たなサービスを提供します。 |
| | 廃止 | 現在のサービスを廃止します。他の公共施設へサービスを統合し、廃止する場合も含まれます。 |
| 建物等 | 維持 | 現在の建物等を補修しながら維持します。複数棟ある施設について、一部の建物等を解体撤去する場合も含まれます。 |
| | 大規模改修 | 長寿命化等を図るため、建物等を全面的に修繕します。 |
| | 建替え | 機能の複合化等を図るため、建物等を建替えします。 |
| | 新築 | 新たなサービスの提供や複合化等に伴い、建物等を新築します。 |
| | 増築 | 新たなサービスの提供や複合化等に伴い、建物等を増築します。 |
| | 既設 | 新たなサービスの提供に伴い、既存の建物等を利用します。 |
| | 用途変更 | サービスの廃止または複合化に伴い、用途を変更します。 |
| | 譲渡 | 現在の建物等を民間事業者等へ譲渡します。 |
| 廃止 | 現在の建物等を廃止します。 | |

オ 評価結果

| 施設名 | 1次評価 | 2次評価 | 総合評価 | |
|-------------------------|--------|--------|--------|-------|
| | | | サービス | 建物等 |
| 奥州市牛の博物館 | 存続 | 存続 | 継続 | 維持 |
| 奥州市埋蔵文化財調査センター | 施設機能強化 | 施設機能強化 | 追加 | 大規模改修 |
| 高野長英記念館 | サービス強化 | サービス強化 | 廃止(統合) | 解体撤去 |
| 後藤新平記念館 | サービス強化 | サービス強化 | 廃止(統合) | 解体撤去 |
| 斎藤實記念館 | サービス強化 | サービス強化 | 廃止(統合) | 解体撤去 |
| 菊田一夫記念館 | 廃止・処分 | 廃止・処分 | 継続 | 廃止 |
| 奥州市武家住宅資料センター | 存続 | 存続 | 継続 | 維持 |
| 衣川歴史ふれあい館(山村文化資源保存伝習施設) | サービス強化 | 廃止・処分 | 継続 | 廃止 |

(2) 供給量の適正化のスケジュール

総合評価において、サービスを「追加」「新規」又は「廃止」と評価した施設、また、建物等を「大規模改修」「建替え」「新築」「増築」「譲渡」「解体撤去」と評価した施設については、施設の適正化スケジュールを4期に分けて次のとおり検討しました。

| 分類名 | 博物館施設 | 施設名 | 奥州市牛の博物館 | |
|------------|---|-------------|--------------|--------------|
| 総合評価 | サービス | 継続 | 建物等 | 維持 |
| スケジュール | 2021 (R3) ~ | 2027 (R9) ~ | 2037 (R19) ~ | 2047 (R29) ~ |
| | サービス | 継続 | 継続 | 維持 |
| | 建物等 | 維持 | 維持 | 維持 |
| 延床面積増減 | 減 (㎡) | — | 増 (㎡) | — |
| 供給量適正化の具体策 | 令和7年(開館から30年)を目途に照明機器のLED化を行います。令和30年には空調機器が老朽化して限界を迎えることから入替を行います。その他の建物や設備については、必要な点検や補修を行い維持に努めます。 | | | |

| 分類名 | 博物館施設 | 施設名 | 奥州市埋蔵文化財調査センター | |
|----------------|---|--------------------------|----------------|--------------|
| 総合評価 | サービス | 追加 | 建物等 | 大規模改修 |
| スケジュール | 2021 (R3) ~ | 2027 (R9) ~ | 2037 (R19) ~ | 2047 (R29) ~ |
| | サービス | 継続 | 継続 | 追加 |
| | 建物等 | 大規模(防火・高圧) 大規模(屋根・外壁) | 維持 | 大規模改修 |
| 延床面積増減 | 減 (㎡) | — | 増 (㎡) | — |
| 供給量適正化 の具体策 | 令和5年度に防災設備及び高圧機器の更新工事、令和6年度に建物屋根と外壁の改修工事を行います。施設を80年程度使用することを目標とし、到達年となる令和54年まで維持していくため、大規模改修を行って長寿命化を図ります。 | | | |

| | 博物館施設 | 施設名 | 高野長英記念館 | |
|----------------|---|-------------|--------------|--------------|
| 総合評価 | サービス | 廃止 | 建物等 | 解体撤去 |
| スケジュール | 2021 (R3) ~ | 2027 (R9) ~ | 2037 (R19) ~ | 2047 (R29) ~ |
| | サービス | 継続 | 廃止 | 廃止 |
| | 建物等 | 維持 | 解体撤去 | 解体撤去 |
| 延床面積増減 | 減 (㎡) | 336.91 | 増 (㎡) | — |
| 供給量適正化 の具体策 | 記念館統合・文化財収蔵施設(名称未定)を新築して収蔵資料(実物)を移管したのち、令和18年を目途に現記念館を廃止(サービス統合)、解体撤去します。 | | | |

| 分類名 | 博物館施設 | 施設名 | 後藤新平記念館 | |
|----------------|---|-------------|--------------|--------------|
| 総合評価 | サービス | 廃止 | 建物等 | 解体撤去 |
| スケジュール | 2021 (R3) ~ | 2027 (R9) ~ | 2037 (R19) ~ | 2047 (R29) ~ |
| | サービス | 継続 | 廃止 | 廃止 |
| | 建物等 | 維持 | 解体撤去 | 解体撤去 |
| 延床面積増減 | 減 (㎡) | 502.32 | 増 (㎡) | — |
| 供給量適正化 の具体策 | 記念館統合・文化財収蔵施設(名称未定)を新築して収蔵資料(実物)を移管したのち、令和18年を目途に現記念館を廃止(サービス統合)、解体撤去します。 | | | |

| 分類名 | 博物館施設 | 施設名 | 斎藤實記念館 | |
|------------|--|-------------|--------------|--------------|
| 総合評価 | サービス | 廃止 | 建物等 | 解体撤去 |
| スケジュール | 2021 (R3) ~ | 2027 (R9) ~ | 2037 (R19) ~ | 2047 (R29) ~ |
| | サービス | 継続 | 廃止 | 廃止 |
| | 建物等 | 大規模(旧宅) | 解体撤去 | 解体撤去 |
| 延床面積増減 | 減 (㎡) | 357.00 | 増 (㎡) | — |
| 供給量適正化の具体策 | <p>記念館統合・文化財収蔵施設(名称未定)を新築して収蔵資料(実物)を移管したのち、令和18年を目途に記念館を廃止(サービス統合)、解体撤去します。</p> <p>記念館の斎藤實旧宅部分については、法定耐用年数をすでに40年以上超えており、令和18年まで記念館として維持できるよう、屋根改修をすることにより長寿命化を図ります。その後、斎藤實旧宅と書庫は、国の登録有形文化財原簿に登録された歴史的建造物であることから、「斎藤子爵水沢文庫(図書閲覧所(旧宅)及び図書庫)」として保存活用を図ります。</p> | | | |

| 分類名 | 博物館施設 | 施設名 | 菊田一夫記念館 | |
|------------|--|-------------|--------------|--------------|
| 総合評価 | サービス | 継続 | 建物等 | 廃止 |
| スケジュール | 2021 (R3) ~ | 2027 (R9) ~ | 2037 (R19) ~ | 2047 (R29) ~ |
| | サービス | 継続 | 継続 | 継続 |
| | 建物等 | 廃止 | — | — |
| 延床面積増減 | 減 (㎡) | 144.00 | 増 (㎡) | — |
| 供給量適正化の具体策 | <p>令和7年(2025)を目途に収蔵資料を江刺地域内の施設に移管したのち、現記念館を廃止(サービス統合)、事務棟を解体撤去します。展示棟は、個人が所有する市指定文化財であることから、サービス廃止後は所有者に返却します。</p> | | | |

| 分類名 | 博物館施設 | 施設名 | 衣川歴史ふれあい館(山村文化資源保存伝習施設) | |
|------------|--|-------------|-------------------------|--------------|
| 総合評価 | サービス | 継続 | 建物等 | 廃止 |
| スケジュール | 2021 (R3) ~ | 2027 (R9) ~ | 2037 (R19) ~ | 2047 (R29) ~ |
| | サービス | 継続 | 継続 | 継続 |
| | 建物等 | 維持 | — | — |
| 延床面積増減 | 減 (㎡) | 488.58 | 増 (㎡) | — |
| 供給量適正化の具体策 | <p>令和10年(耐用年数+10年)を目途に解体撤去し、サービスは他の複合施設に統合します。土地は借地であるため所有者に返却します。</p> | | | |

| | | | | |
|------------|--|-----------|---------------------|------------|
| 分類名 | 博物館施設 | 施設名 | 記念館統合・文化財収蔵施設(名称未定) | |
| 総合評価 | サービス | 新規(継続) | 建物等 | 新築 |
| スケジュール | 2021(R3)～ | 2027(R9)～ | 2037(R19)～ | 2047(R29)～ |
| | サービス | 新規(継続) | 継続 | 継続 |
| | 建物等 | 新築 | 維持 | 維持 |
| 延床面積増減 | 減(m ²) | — | 増(m ²) | 1,500.00 |
| 供給量適正化の具体策 | 記念館統合・文化財収蔵施設(名称未定)を新築して記念館等の市が管理している収蔵資料(実物)を移管して保存環境の改善を図るとともに一括管理による資料活用の促進を推し進めます。 | | | |

| | | | | |
|------------|---|-----------|--------------------|------------|
| 分類名 | 博物館施設 | 施設名 | 白鳥館遺跡ガイダンス施設 | |
| 総合評価 | サービス | 新規(継続) | 建物等 | 新築 |
| スケジュール | 2021(R3)～ | 2027(R9)～ | 2037(R19)～ | 2047(R29)～ |
| | サービス | 新規(継続) | 継続 | 継続 |
| | 建物等 | 新築 | 維持 | 維持 |
| 延床面積増減 | 減(m ²) | — | 増(m ²) | 50.00 |
| 供給量適正化の具体策 | 「柳之御所・平泉遺跡群」として国史跡に指定されている白鳥館遺跡の史跡案内所(25m ² :コンテナハウス、商業観光課所管)をガイダンス施設として国庫補助を受けて新築します。 | | | |

| | | | | |
|------------|---|-----------|--------------------|------------|
| 分類名 | 博物館施設 | 施設名 | 長者ヶ原廃寺跡ガイダンス施設 | |
| 総合評価 | サービス | 新規(継続) | 建物等 | 新築 |
| スケジュール | 2021(R3)～ | 2027(R9)～ | 2037(R19)～ | 2047(R29)～ |
| | サービス | 新規(継続) | 継続 | 継続 |
| | 建物等 | 新築 | 維持 | 維持 |
| 延床面積増減 | 減(m ²) | — | 増(m ²) | 50.00 |
| 供給量適正化の具体策 | 「柳之御所・平泉遺跡群」として国史跡に指定されている長者ヶ原廃寺跡の史跡案内所(25m ² :コンテナハウス、商業観光課所管)をガイダンス施設として国庫補助を受けて新築します。 | | | |

(3) 施設の延床面積の増減

| 施設名 | 延床面積の増減 (㎡) | | | | |
|--------------------------|-------------|----------|-----------|-------|----------|
| | 2017～ | 2027～ | 2037～ | 2047～ | 合計 |
| 奥州市牛の博物館 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 奥州市埋蔵文化財調査センター | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 高野長英記念館 | 0 | 0 | ▲336.91 | 0 | ▲336.91 |
| 後藤新平記念館 | 0 | 0 | ▲502.32 | 0 | ▲502.32 |
| 斎藤實記念館 | 0 | 0 | ▲357.00 | 0 | ▲357.00 |
| 菊田一夫記念館 | 0 | 0 | ▲144.00 | 0 | ▲144.00 |
| 奥州市武家住宅資料センター | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 衣川歴史ふれあい館 (山村文化資源保存伝習施設) | 0 | ▲488.58 | 0 | 0 | ▲488.58 |
| 記念館統合・文化財収蔵施設 (名称未定) | 0 | 1,500.00 | 0 | 0 | 1,500.00 |
| 白鳥館遺跡ガイダンス施設 | 0 | 50.00 | 0 | 0 | 50.00 |
| 長者ヶ原廃寺跡ガイダンス施設 | 0 | 50.00 | 0 | 0 | 50.00 |
| 合計 | | 1,111.42 | ▲1,340.23 | | ▲228.81 |

4 既存施設等の有効活用（更新・維持）に関する事項

(1) 既存施設等の有効活用の検討方法

計画期間内の既存施設等の有効活用については、総合管理計画による基本方針（老朽化の状況や利用実態及び需要の見通しを踏まえた、計画的な更新、品質の保持や機能の改善）及び「3 供給量の適正化に関する事項」の「(2) 供給量の適正化スケジュール」に基づき、次の方法で検討を行いました。

ア 既存施設等の有効活用（更新・維持）の基本方針

| 既存施設等の有効活用（更新・維持）基本方針 | |
|---|--|
| ○登録博物館として建設され、文化財等の資料を適切に保管・活用することが可能な構造と設備を持つ奥州市牛の博物館の施設については、適切な修繕を行い、維持します。 | |
| ○出土遺物を適切に保管・活用することが可能な構造と設備を持つ奥州市埋蔵文化財調査センターの施設については、適切な修繕を行います。また、国史跡「胆沢城跡」のガイダンス施設であることから令和6年以降に施設を大規模改修して長寿命化を図ります。 | |
| ○市有形文化財旧内田家住宅などの管理棟である奥州市武家住宅資料センターについては、歴史的建造物の維持管理に必要であることから、施設の適切な修繕を行い、維持します。 | |
| ○その他の施設については、文化財等の資料を適切に保管・活用することが不可能であり、博物館施設としては構造的な欠陥を持つことから、実物資料を新築する記念館統合・文化財収蔵施設（名称未定）に移管した後は、最低限度の修理による維持とし、機能統合後に解体撤去します。 | |

イ 更新・修繕の区分

| 区分 | 評価区分の適用 | 内容 |
|----|-----------------|--|
| 更新 | 大規模改修、建替え、新築、増築 | 長寿命化や機能の複合化、新たなサービスの提供に伴う建物全体の更新 |
| 維持 | 修繕 | ○建築（屋根・外壁等）、電気設備（受変電設備等）、機械設備（空調設備等）、昇降機設備等の代表的な部位に係る予防・補修 ※部位別に予防・補修時期を設定 ※構造別に使用目標年数を設定 ○耐震化、バリアフリー化、省エネルギー設備の導入等 |

ウ 更新・維持に係る費用の算出方法

現に具体的な更新・維持の計画があるものを除き、計画期間内において必要とされる更新・維持に係る費用は、次の方法で算出しました。

| 区分 | 内容 |
|----|---|
| 更新 | 市が統一的に用いる「再調達価格」を基に、更新時の解体費用等も考慮して算出 |
| 維持 | ○国土交通省が定める「新営予算単価」を基に、施設の用途別に部位ごとの構成比率等を設定し、予防・補修に係る費用を算出 ○当該施設における過去の実績や他の公共施設での実績等を基に費用を算出 |

エ 更新・維持の優先順位

不特定多数の利用者がある施設を優先するとともに、更新・維持履歴や点検結果等による施設の劣化状況に応じて、更新・維持の優先順位を検討しました。

(2) 既存施設等の有効活用スケジュール

更新・維持の優先順位を考慮しながら、施設の長寿命化、財政負担の平準化を行うため、更新・維持スケジュールを4期各10年間に分けて次のとおり検討しました。

| 分類名 | 博物館施設 | 施設名 | 奥州市牛の博物館 | |
|---------------|---|----------------------|--------------|--------------|
| 総合評価 | サービス | 継続 | 建物等 | 維持 |
| スケジュール | 2021 (R3) ~ | 2027 (R9) ~ | 2037 (R19) ~ | 2047 (R29) ~ |
| 更新内容 | — | — | — | — |
| 維持内容 | 空調機器入替 | 照明機器入替 常設展示リニューアル | | 空調機器入替 |
| 更新・維持の 具体策 | 令和7年(開館から30年)を目途に照明機器のLED化を行い、併せて常設展示のリニューアルを行います。令和30年には空調機器が老朽化して限界を迎えることから入替を行います。その他の建物や設備については、必要な点検や補修を行い維持に努めます。 | | | |

| 分類名 | 博物館施設 | 施設名 | 奥州市埋蔵文化財調査センター | |
|---------------|--|-------------|----------------|--------------|
| 総合評価 | サービス | 追加 | 建物等 | 大規模改修 |
| スケジュール | 2021 (R3) ~ | 2027 (R9) ~ | 2037 (R19) ~ | 2047 (R29) ~ |
| 更新内容 | 大規模(防火・高圧) 大規模(屋根・外壁) | — | — | 大規模改修 |
| 維持内容 | 空調設備入替 | — | — | 空調設備入替 |
| 更新・維持の 具体策 | 令和5年度に防災設備及び高圧機器の更新工事、令和6年度に建物屋根・外壁改修工事を行います。施設を80年程度使用することを目標とし、到達年となる令和54年まで維持していくため、大規模改修を行って長寿命化を図ります。 | | | |

| 分類名 | 博物館施設 | 施設名 | 高野長英記念館 | |
|---------------|--|-------------|--------------|--------------|
| 総合評価 | サービス | 廃止 | 建物等 | 解体撤去 |
| スケジュール | 2021 (R3) ~ | 2027 (R9) ~ | 2037 (R19) ~ | 2047 (R29) ~ |
| 更新内容 | — | — | 解体撤去 | |
| 維持内容 | — | — | — | |
| 更新・維持の 具体策 | 記念館統合・文化財収蔵施設（名称未定）を新築して収蔵資料(実物)を移管したのち、令和18年を目途に現記念館を廃止（サービス統合）、解体撤去します。解体撤去するまでの間、建物や設備については、必要な点検や補修を行い維持に努めます。 | | | |

| 分類名 | 博物館施設 | 施設名 | 後藤新平記念館 | |
|---------------|---|-------------|--------------|--------------|
| 総合評価 | サービス | 廃止 | 建物等 | 解体撤去 |
| スケジュール | 2021 (R3) ~ | 2027 (R9) ~ | 2037 (R19) ~ | 2047 (R29) ~ |
| 更新内容 | — | — | 解体撤去 | |
| 維持内容 | — | — | — | |
| 更新・維持の 具体策 | 記念館統合・文化財収蔵施設（名称未定）新築後は収蔵資料(実物)を移管し、廃止（サービス統合）します。解体撤去するまでの間、その他の建物や設備については、必要な点検や補修を行い維持に努めます。 | | | |

| 分類名 | 博物館施設 | 施設名 | 斎藤實記念館 | |
|---------------|--|-------------|--------------|--------------|
| 総合評価 | サービス | 廃止 | 建物等 | 解体撤去・新築 |
| スケジュール | 2021 (R3) ~ | 2027 (R9) ~ | 2037 (R19) ~ | 2047 (R29) ~ |
| 更新内容 | 大規模(旧宅) | — | 解体撤去 | |
| 維持内容 | — | — | — | |
| 更新・維持の 具体策 | <p>記念館統合・文化財収蔵施設（名称未定）を新築して収蔵資料(実物)を移管したのち、令和18年を目途に記念館を廃止（サービス統合）、解体撤去します。</p> <p>記念館の斎藤實旧宅部分については、法定耐用年数をすでに40年以上超えており、令和18年まで記念館として維持できるよう、屋根改修をすることにより長寿命化を図ります。その後、斎藤實旧宅と書庫は、国の登録有形文化財原簿に登録された歴史的建造物であることから、「斎藤子爵水沢文庫（図書閲覧所(旧宅)及び図書庫）」として保存活用を図ります。</p> | | | |

| 分類名 | 博物館施設 | 施設名 | 菊田一夫記念館 | |
|---------------|---|-------------------------|--------------|--------------|
| 総合評価 | サービス | 廃止 | 建物等 | 解体撤去 |
| スケジュール | 2021 (R3) ~ | 2027 (R9) ~ | 2037 (R19) ~ | 2047 (R29) ~ |
| 更新内容 | — | 解体撤去(管理棟) 返却(展示棟・土地) | — | — |
| 維持内容 | — | — | — | — |
| 更新・維持の 具体策 | 令和7年(2025)を目途に収蔵資料を江刺地域内の施設に移管したのち、現記念館を廃止(サービス統合)、事務棟を解体撤去します。 | | | |

| 分類名 | 博物館施設 | 施設名 | 奥州市武家住宅資料センター | |
|---------------|---|-------------|---------------|--------------|
| 総合評価 | サービス | 継続 | 建物等 | 維持 |
| スケジュール | 2021 (R3) ~ | 2027 (R9) ~ | 2037 (R19) ~ | 2047 (R29) ~ |
| 更新内容 | — | — | — | — |
| 維持内容 | 外壁修繕 | — | — | — |
| 更新・維持の 具体策 | 留守城下の展示・ガイダンス施設であり、市有形文化財旧内田家住宅などの管理棟である奥州市武家住宅資料センターは、歴史的建造物の維持管理に必要であることから、施設の適切な修繕を行い、維持します。 | | | |

| 分類名 | 博物館施設 | 施設名 | 衣川歴史ふれあい館(山村文化資源保存伝習施設) | |
|---------------|--|-------------|-------------------------|--------------|
| 総合評価 | サービス | 廃止 | 建物等 | 解体撤去 |
| スケジュール | 2021 (R3) ~ | 2027 (R9) ~ | 2037 (R19) ~ | 2047 (R29) ~ |
| 更新内容 | — | 解体撤去 | | |
| 維持内容 | — | | | |
| 更新・維持の 具体策 | 令和10年(耐用年数+10年)を目途に建物は解体撤去し、サービスは他の複合施設と統合します。土地は借地のため所有者に返却します。 | | | |

| 分類名 | 博物館施設 | 施設名 | 記念館統合・文化財収蔵施設(名称未定) | |
|---------------|---|-------------|---------------------|--------------|
| 総合評価 | サービス | 新規(継続) | 建物等 | 新築 |
| スケジュール | 2021 (R3) ~ | 2027 (R9) ~ | 2037 (R19) ~ | 2047 (R29) ~ |
| 更新内容 | | | 新築 | |
| 維持内容 | | | | |
| 更新・維持の 具体策 | 令和18年を目途に記念館統合・文化財収蔵施設(名称未定)を新築して記念館等の市が管理している収蔵資料(実物)を移管して保存環境の改善を図るとともに一括管理による資料活用の促進を推し進めます。 | | | |

| 分類名 | 博物館施設 | 施設名 | 白鳥館遺跡ガイダンス施設 | |
|---------------|--|-----------|--------------|------------|
| 総合評価 | サービス | 新規（継続） | 建物等 | 新築 |
| スケジュール | 2021（R3）～ | 2027（R9）～ | 2037（R19）～ | 2047（R29）～ |
| 更新内容 | 新築 | | | |
| 維持内容 | | | | |
| 更新・維持の 具体策 | 現在、コンテナハウスで仮設置している史跡案内所を令和7年度を目途に国庫補助を受けて新築し、国史跡の公開を促進します。 | | | |

| 分類名 | 博物館施設 | 施設名 | 長者ヶ原廃寺跡ガイダンス施設 | |
|---------------|--|-----------|----------------|------------|
| 総合評価 | サービス | 新規（継続） | 建物等 | 新築 |
| スケジュール | 2021（R3）～ | 2027（R9）～ | 2037（R19）～ | 2047（R29）～ |
| 更新内容 | 新築 | | | |
| 維持内容 | | | | |
| 更新・維持の 具体策 | 現在、コンテナハウスで仮設置している史跡案内所を令和7年度を目途に国庫補助を受けて新築し、国史跡の公開を促進します。 | | | |

(3) 更新・維持に係る費用の概算

次に示す実施時期や費用は、今後の既存施設等の有効活用に向けた目安とするものです。

| 施設名 | 更新・維持 の別 | 更新・維持費用（千円） | | | | 合計 |
|---------------------------|-------------|-----------------------|------------------------|-------------------------|-------------------------|-----------|
| | | 2021(R3)～ 2026(R8) | 2027(R9)～ 2036(R18) | 2037(R19)～ 2046(R28) | 2047(R29)～ 2056(R38) | |
| 奥州市牛の博物館 | 更新 | 86,869 | 420,120 | 270,000 | 0 | 776,989 |
| | 維持 | 178,174 | 56,019 | 34,261 | 196,514 | 464,968 |
| 奥州市埋蔵文化財 調査センター | 更新 | 33,903 | 0 | 0 | 509,225 | 543,128 |
| | 維持 | 247,051 | 25,781 | 43,340 | 270,007 | 586,179 |
| 高野長英記念館 | 更新 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 維持 | 132 | 45,365 | 0 | 0 | 45,497 |
| 後藤新平記念館 | 更新 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 維持 | 11,261 | 350 | 0 | 0 | 11,611 |
| 斎藤實記念館 | 更新 | 18,743 | 0 | 0 | 0 | 18,743 |
| | 維持 | 252 | 46,815 | 380 | 7,851 | 55,298 |
| 菊田一夫記念館 | 更新 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 維持 | 5,714 | 120 | 0 | 0 | 5,834 |
| 奥州市武家住宅資料 センター | 更新 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 維持 | 66 | 20,249 | 110 | 15,256 | 35,681 |
| 衣川歴史ふれあい館 (山村文化資源伝習施設) | 更新 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 維持 | 66 | 0 | 0 | 0 | 66 |
| 記念館統合・文化財 収蔵施設(名称未定) | 更新 | 0 | 1,000,000 | 0 | 0 | 1,000,000 |
| | 維持 | 0 | 0 | 2,000 | 2,000 | 4,000 |
| 白鳥館遺跡ガイダン ス施設 | 更新 | 32,000 | | | | 32,000 |
| | 維持 | | 1,000 | 1,000 | 1,000 | 3,000 |
| 長者ヶ原廃寺跡ガイ ダンス施設 | 更新 | 32,000 | | | | 32,000 |
| | 維持 | | 1,000 | 1,000 | 1,000 | 3,000 |
| 合計 | 更新 | 203,515 | 1,420,120 | 270,000 | 509,225 | 3,617,994 |
| | 維持 | 442,716 | 196,699 | 82,091 | 493,628 | |

5 効率的な管理・運営に関する事項

(1) 管理・運営の見直しの検討方法

計画期間内の管理運営については、総合管理計画による効率的な基本方針（管理システムの構築や全庁的な推進体制を確立し、情報の共有と一元管理。PFIや指定管理者制度などPPP手法を用いた民間活力の導入）並びに「3 供給量の適正化に関する事項」の「(2) 供給量の適正化スケジュール」及び「4 既存施設等の有効活用（更新・修繕）に関する事項」の「(2) 既存施設等の有効活用のスケジュール」に基づき、次の方法で検討を行いました。

ア 管理・運営の基本方針

| 管理・運営の基本方針 | |
|------------|---|
| ○ | 文化財などの収蔵資料を保存して活用できる状態で後世に伝える必要があり、博物館施設の管理・運営は、指定管理者制度にそぐわないことから、直営で管理し、従来どおり清掃等の業務委託をしてまいります。業務内容の検証、見直しを行い、適正かつ効率的な管理・運営に努めます。 |

イ 管理・運営の区分

| 区分 | 管理運営分類 | 内容 |
|--------|--------|-------------------|
| サービス提供 | 直営 | 市がサービスを提供します。 |
| | 指定管理 | 指定管理者がサービスを提供します。 |
| | 民間委託 | サービスの提供を民間に委託します。 |
| | 民営 | サービスの提供を民営化します。 |
| | 廃止 | サービスの提供を廃止します。 |
| 建物管理 | 直営 | 市が建物等を管理します。 |
| | 指定管理 | 指定管理者が建物等を管理します。 |
| | 民間委託 | 建物等の管理を民間に委託します。 |
| | 民営 | 建物等の管理を民営化します。 |
| | 解体撤去 | 建物等を解体撤去します。 |

ウ 管理・運営に係る費用の算出方法

管理・運営の見直しの検討内容に基づき、サービスの提供による収入、管理・運営に係る費用について、次の方法で検討を行いました。

| 区分 | 費用分類 | 内容 |
|----|---------|-------------------------------------|
| 収入 | 全般 | 市の歳入になるもののみとし、過去3年間の平均値に一定の割合を減じて算出 |
| 支出 | 施設管理委託料 | 施設の管理を民間又は団体に委託した場合の費用で、過去3年間の平均値 |
| | 事業運営委託料 | 施設で行う事業を民間又は団体に委託した場合の費用で、過去3年間の平均値 |
| | 直営管理費 | 直営で施設を管理する場合の費用で、過去3年間の平均値 |
| | 直営事業費 | 直営で事業を実施する場合の費用で、過去3年間の平均値 |
| | 光熱水費 | 電気、水道、ガス等の費用で、過去3年間の平均値に一定の割合を乗じて算出 |
| | 解体撤去費 | 解体撤去の費用で、延床面積に一定の単価及び割合を乗じて算出 |

(2) 管理・運営の見直しスケジュール

管理・運営の見直しの検討内容に基づき、管理・運営の見直しスケジュールを前期と後期各10年間に分けて次のとおり検討しました。

| 分類名 | 博物館施設 | 施設名 | 奥州市牛の博物館 | |
|----------|---|-------------|--------------|--------------|
| 総合評価 | サービス | 継続 | 建物等 | 維持 |
| スケジュール | 2021 (R3) ~ | 2027 (R9) ~ | 2037 (R19) ~ | 2047 (R29) ~ |
| | サービス | 直営 | 直営 | 直営 |
| | 建物管理 | 直営 | 直営 | 直営 |
| 管理運営の具体策 | 奥州市唯一の登録博物館として、資料の収集・保管、展示・公開、教育普及活動及び調査研究等については、引き続き直営で行います。建物についても、直営で適切な管理を行ってまいります。設備点検や清掃業務など一部の施設管理を民間業者に委託します。 | | | |

| 分類名 | 博物館施設 | 施設名 | 奥州市埋蔵文化財調査センター | |
|----------|---|-------------|----------------|--------------|
| 総合評価 | サービス | 追加 | 建物等 | 大規模改修 |
| スケジュール | 2021 (R3) ~ | 2027 (R9) ~ | 2037 (R19) ~ | 2047 (R29) ~ |
| | サービス | 指定管理 | 指定管理 | 指定管理 |
| | 建物管理 | 指定管理 | 指定管理 | 指定管理 |
| 管理運営の具体策 | 国史跡胆沢城跡のガイダンス施設として活用を促進し、市が所有する出土遺物の保存管理を適切に行うことが可能と認められる団体があることから、サービスの提供を指定管理で行います。建物の管理についても指定管理者が行うものとなりますが、一件10万円以上の修繕については直営で行うものとなります。 | | | |

| 分類名 | 博物館施設 | 施設名 | 高野長英記念館 | |
|----------|---|-------------|--------------|--------------|
| 総合評価 | サービス | 廃止 | 建物等 | 解体撤去 |
| スケジュール | 2021 (R3) ~ | 2027 (R9) ~ | 2037 (R19) ~ | 2047 (R29) ~ |
| | サービス | 直営 | 廃止 | |
| | 建物管理 | 直営 | 解体撤去 | |
| 管理運営の具体策 | 既に必要最低限度の経費でサービス提供と建物管理を行っており、指定管理制度の導入が困難であることから、令和18年を目途とするサービス廃止(統合)まで直営で管理・運営を行います。 | | | |

| 分類名 | 博物館施設 | 施設名 | 後藤新平記念館 | |
|----------|---|-------------|--------------|--------------|
| 総合評価 | サービス | 廃止 | 建物等 | 解体撤去 |
| スケジュール | 2021 (R3) ~ | 2027 (R9) ~ | 2037 (R19) ~ | 2047 (R29) ~ |
| | サービス | 直営 | 廃止 | |
| | 建物管理 | 直営 | 解体撤去 | |
| 管理運営の具体策 | 既に必要最低限度の経費でサービス提供と建物管理を行っており、指定管理制度の導入が困難であることから、令和18年を目途とするサービス廃止(統合)まで直営で管理・運営を行います。 | | | |

| 分類名 | 博物館施設 | 施設名 | 斎藤實記念館 | |
|----------|---|-------------|--------------|--------------|
| 総合評価 | サービス | 廃止 | 建物等 | 解体撤去 |
| スケジュール | 2021 (R3) ~ | 2027 (R9) ~ | 2037 (R19) ~ | 2047 (R29) ~ |
| | サービス | 直営 | 廃止 | |
| | 建物管理 | 直営 | 解体撤去 | |
| 管理運営の具体策 | 既に必要最低限度の経費でサービス提供と建物管理を行っており、指定管理制度の導入が困難であることから、令和18年を目途とするサービス廃止(統合)まで直営で管理・運営を行います。 | | | |

| 分類名 | 博物館施設 | 施設名 | 菊田一夫記念館 | |
|----------|---|-------------|--------------|--------------|
| 総合評価 | サービス | 廃止 | 建物等 | 解体撤去 |
| スケジュール | 2021 (R3) ~ | 2027 (R9) ~ | 2037 (R19) ~ | 2047 (R29) ~ |
| | サービス | 直営 | 廃止 | |
| | 建物管理 | 直営 | 解体撤去 | |
| 管理運営の具体策 | 既に必要最低限度の経費でサービス提供と建物管理を行っており、指定管理制度の導入が困難であることから、令和7年(2025)のサービス廃止(統合)まで直営で管理・運営を行います。 | | | |

| | | | | |
|----------|--|-------------|---------------|--------------|
| 分類名 | 博物館施設 | 施設名 | 奥州市武家住宅資料センター | |
| 総合評価 | サービス | 継続 | 建物等 | 維持 |
| スケジュール | 2021 (R3) ~ | 2027 (R9) ~ | 2037 (R19) ~ | 2047 (R29) ~ |
| | サービス | 直営 | 直営 | 直営 |
| | 建物管理 | 直営 | 直営 | 直営 |
| 管理運営の具体策 | 指定文化財等の建造物の管理及びガイダンス施設として、引き続き直営で管理・運営を行います。 | | | |

| | | | | |
|----------|--|-------------|-------------------------|--------------|
| 分類名 | 博物館施設 | 施設名 | 衣川歴史ふれあい館(山村文化資源保存伝習施設) | |
| 総合評価 | サービス | 廃止 | 建物等 | 解体撤去 |
| スケジュール | 2021 (R3) ~ | 2027 (R9) ~ | 2037 (R19) ~ | 2047 (R29) ~ |
| | サービス | 指定管理 | 廃止 | |
| | 建物管理 | 指定管理 | 解体撤去 | |
| 管理運営の具体策 | 令和10年までに建物は解体撤去し、サービスは他の複合施設と統合します。それまで、管理・運営は指定管理で行います。 | | | |

| | | | | |
|----------|--|-------------|---------------------|--------------|
| 分類名 | 博物館施設 | 施設名 | 記念館統合・文化財収蔵施設(名称未定) | |
| 総合評価 | サービス | 新規(継続) | 建物等 | 新築 |
| スケジュール | 2021 (R3) ~ | 2027 (R9) ~ | 2037 (R19) ~ | 2047 (R29) ~ |
| | サービス | | 直営 | 直営 |
| | 建物管理 | | 直営 | 直営 |
| 管理運営の具体策 | 令和18年を目途に記念館統合・文化財収蔵施設(名称未定)を新築し、記念館等の市が管理している収蔵資料(実物)を移管して保存環境の改善を図るとともに、一括管理による資料活用の促進を推し進めます。 | | | |

| | | | | |
|----------|---|-------------|--------------|--------------|
| 分類名 | 博物館施設 | 施設名 | 白鳥館遺跡ガイダンス施設 | |
| 総合評価 | サービス | 新規(継続) | 建物等 | 新築 |
| スケジュール | 2021 (R3) ~ | 2027 (R9) ~ | 2037 (R19) ~ | 2047 (R29) ~ |
| | サービス | 直営 | 直営 | 直営 |
| | 建物管理 | 直営 | 直営 | 直営 |
| 管理運営の具体策 | 現在、コンテナハウスで仮設置している史跡案内所を令和7年度に国庫補助を受けて新築し、国史跡の公開を促進します。管理・運営は直営で行います。 | | | |

| 分類名 | 博物館施設 | 施設名 | 長者ヶ原廃寺跡ガイダンス施設 | |
|----------|---|-----------|----------------|------------|
| 総合評価 | サービス | 新規（継続） | 建物等 | 新築 |
| スケジュール | 2021（R3）～ | 2027（R9）～ | 2037（R19）～ | 2047（R29）～ |
| | サービス | 直営 | 直営 | 直営 |
| | 建物管理 | 直営 | 直営 | 直営 |
| 管理運営の具体策 | 現在、コンテナハウスで仮設置している史跡案内所を令和7年度に国庫補助を受けて新築し、国史跡の公開を促進します。管理・運営は直営で行います。 | | | |

(3) 管理・運営に係る費用の概算

次に示す管理・運営費は、今後の効率的な管理・運営に向けた目安とするものです。

| 施設名 | 管理・運営費（千円） | | | | | | | | |
|---------------------------------|--------------------|-----------|-----------|---------------------|-----------|-----------|--------|-----------|-----------|
| | 2021(R3)～2036(R18) | | | 2037(R19)～2056(R38) | | | 合計 | | |
| | 収入 | 支出 | 実質 負担額 | 収入 | 支出 | 実質 負担額 | 収入 | 支出 | 実質 負担額 |
| 奥州市牛の 博物館 | 20,800 | 280,667 | 259,867 | 26,000 | 280,667 | 254,667 | 46,800 | 561,334 | 514,534 |
| 奥州市埋蔵文化 財調査センター | 0 | 694,614 | 694,614 | 0 | 694,613 | 694,613 | 0 | 1,389,227 | 1,389,227 |
| 高野長英記 念館 | 3,840 | 128,747 | 124,907 | 0 | 0 | 0 | 3,840 | 128,747 | 124,907 |
| 後藤新平記 念館 | 6,080 | 116,907 | 110,827 | 0 | 0 | 0 | 6,080 | 116,907 | 110,827 |
| 斎藤實記 念館 | 3,520 | 132,187 | 128,667 | 4,400 | 132,187 | 127,787 | 7,920 | 264,374 | 256,454 |
| 菊田一夫記 念館 | 0 | 156,487 | 156,487 | 0 | 0 | 0 | 0 | 156,487 | 156,487 |
| 奥州市武家住宅 資料センター | 240 | 242,407 | 242,167 | 300 | 242,407 | 242,107 | 540 | 484,814 | 484,274 |
| 衣川歴史ふれあい 館(山村文化資源保存伝習 施設) | 0 | 48,984 | 48,984 | 0 | 0 | 0 | 0 | 48,984 | 48,984 |
| 記念館統合・文 化財収蔵施設 (名称未定) | 0 | 126,000 | 126,000 | 0 | 280,000 | 280,000 | 0 | 406,000 | 406,000 |
| 白鳥館遺跡ガイ ダンス施設 | 0 | 77,220 | 77,220 | 0 | 102,960 | 102,960 | 0 | 180,180 | 180,180 |
| 長者ヶ原廃寺跡 ガイダンス施設 | 0 | 77,220 | 77,220 | 0 | 102,960 | 102,960 | 0 | 180,180 | 180,180 |
| 合計 | 34,480 | 2,081,440 | 2,046,960 | 30,700 | 1,835,794 | 1,805,094 | 65,180 | 3,917,234 | 3,852,054 |

6 公共施設等のマネジメントによる効果

(1) 供給量の適正化による効果

| 計画前の延床面積 A | 計画期間後の延床面積 B | 計画前後の延床面積の増減 【増減割合】 |
|-------------------------|-------------------------|--------------------------------|
| 5,875.88 m ² | 5,797.23 m ² | ▲228.81 m ² 【▲1.3%】 |
| 主な要因 | | |
| ○譲渡、解体撤去による減 | ▲118.58 m ² | |
| ○新築による増 | 1,600 m ² | |

(2) 既存施設等の有効活用（更新・維持）による効果

| 計画前の更新・維持費の見込み A | 計画期間中の更新・維持費 B | 計画前後の更新・維持費の増減 【増減割合】 |
|-----------------------|-------------------|--------------------------|
| 3,848,996 千円 | 3,617,994 千円 | ▲231,002 千円 【▲6.0%】 |
| 主な要因 | | |
| ○老朽化による維持費用の増 | 1,373,649 千円 | |
| ○新築、解体撤去、耐震化による付帯費用の増 | 2,350,214 千円 | |

(3) 効率的な管理・運営による効果

| 計画前の管理・運営費の見込み A | 計画期間中の管理・運営費 B | 計画前後の管理・運営費の増減 【増減割合】 |
|---------------------|-------------------|--------------------------|
| 9,901,728 千円 | 3,852,054 千円 | ▲6,049,674 千円 【▲61.1%】 |
| 主な要因 | | |
| ○供給量の適正化（廃止／解体撤去等） | ▲48,984 千円 | |
| ○新築による増 | 766,360 千円 | |